

2020年度 自己評価・施設関係者評価報告書

2021年 4月

学校法人双葉学園 認定こども園北竜台ふたば文化

1. 本園の教育・保育理念

北竜台ふたば文化は子ども達の楽園です。

楽しくなければこども園ではない！

たくましく 大地に根をはれ ふたばっこ

教育・保育目標

- 1) 丈夫で元気な子
- 2) 自然に親しむ子
- 3) 友だちと仲良く遊べる子
- 4) よく考えて行動する子
- 5) 最後までがんばる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画／評価・結果

【テーマ】自立のサイクル 子どもも職員も、自主的、主体的に！！

自分で考え決断し、実行し、結果に責任を持つ、また更に考え実行していく、という自立のサイクルを遊びや生活の中で意識し、子ども達がより自主的に、主体的に活動する為にはどのような働きかけが必要か、ねらい、計画を立て行った。

【重点的な目標・計画についての評価結果】

・自主的に、主体的に行えるようになる為には、きっかけづくりとして継続的に環境を設定する事が必要であると学んだ。
・3学期、劇ごっこでは子ども達が自分で考え、意見を出し合い楽しく行うことができた。
・保育者がいなくても自分達で好きな遊びを見つけ、継続できるようになった。友達と誘い合う姿が多く見られた。
・子ども達のやりたいことが、その日の遊びに反映され、主体的に遊ぶ姿が増えた。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況／評価・結果

評価項目	集計結果	評価
園の方針・教育理念の理解と実践	93%	S
職員として	95%	S
安全管理	92%	S
保護者対応	96%	S
地域・園外活動	28%	D
保育・園内研修	86%	A
研修	63%	B
総合	79%	B

【自己評価からの評価・結果】
今年度は、行事の在り方を再度検討する機会が多かったが、子ども達の為に何が大切なのかしっかり話し合い進めることができた。
挨拶を1学期から繰り返してきたことで、挨拶が進んでできるようになった。
コロナウイルスもあり、今年度は園外保育に行く機会が少なかった。
自己評価から、チェックを付けられなかった箇所を意識して改善する姿が見られた。

※各項目にチェックをつけた人数を集計し各項目の割合を計算した。

その値が、 90%以上S 80%以上A 60%以上B 40%以上C 40%未満D とし、評価を行った。

4. 今後取り組む課題

自分で考え決断し、実行し、結果に責任を持つ、またさらに考え実行していくという『自立のサイクル』。

子ども達は好きな遊びを主体的に行い、誘い合い、自分達自身で遊びこむ事ができるようになってきた。

次年度は、子ども達自身で遊びを展開、広げていけるような想像力、友達の気持ちを考える想像力、様々なことに主体的に挑戦する力を育んでいきたい。その為には、どのような働きかけが必要か「ごっこ遊び」、「運動遊び」、「製作遊び」の3つのグループに分かれ、ねらい、計画を立て行っていく。

5. 父母の会からの評価

2020 年度施設関係者評価

2020 年度父母の会会長、副会長より、職員の自己評価の結果や、日々の園生活を見ての施設関係者評価を頂きました。

- ・自然あふれる園庭で四季の移り変わりを肌で感じ、植物や昆虫と触れ合い、毎日泥だらけで遊ぶ経験ができることは子供の成長に不可欠であり、とても大切だと思った。先生方が日々綿密な教育プログラムを考え、実践してくださっているおかげである。思いきり遊び、学ぶ、環境を整えてくださっていることに感謝している。
- ・園長先生が子ども達と思いきり遊んでくれる。先生達もクラスの担任関係なく、どの先生も何時でも明るく笑顔で挨拶してくれ、子ども達をよく見てくれている。泣いて登園することが多い子だったが、両手を広げて笑顔で迎え入れてくれる先生のもとへあっさり手を伸ばすほど、先生との信頼関係があり、安心して預けられた。
- ・コロナ禍で生活は一変したが、子ども達の園生活はいつもと変わらずとても充実しており、毎日笑顔で帰ってきた。また、全ての行事を廃止するようなことなく、子ども達最優先で出来る事を全力でやってくれていた。夏祭りの様子を見て、親の介入なくこんなに子ども達だけで出来る事があるのだ！と驚いた。子ども達主催のお店やさんで実際のお金を使っただけの体験もでき、とてもよい経験になった。また、配信という形で園の様子が見られ、ふたばっこらしい子ども主体の行事を自宅で子どもと一緒に見て楽しむことができ、嬉しそうに、時には得意げにその時の行事の様子を話す我が子に、制限だらけの世の中で改めてここは子ども達の楽園だと感じることができた。運動会も園児のみと別日に保護者参加の 2 回開催して頂き、子供達の一生懸命な姿を見ることができ、感動した。
コロナ禍で、いろいろなことが中止になる中、先生方は常に子供達の事を考えて下さり、感染防止をしながら行事を行って下さったこと、感謝している。
- ・年少だけのクラス、年中長で異年齢混合のクラス編成は、初めて自分で気の合う友達を見つけ子どもの社会を経験し、異年齢での関わりで学ぶ機会も増え、さらに成長する環境作りができる魅力がある。初めて出来た友達は特別のようで、成長と共に仲が深まり、またクラス替えがあることで他の友達や先生との関わりも増え、世界が広がっている。異年齢のクラスにすることで先生方には大変なことも多くあると思うが、年中の時は年長にあこがれ、あんなりたいと思い、年長になった時は自分がしてもらったことを年中にしてあげたり、同学年だけでは経験できないことを学ぶことができ、思いやりをもった子供に育っているのを感じた。
- ・周りの父母の意見として多かったのが、駐車場の出入り口で事故が多発している事。道路からしっかり見えるように看板を出してほしい、入り口を広くしてほしい等の意見があった。
- ・日々成長している子どもの姿を間近で見る機会が減った寂しさはあるが、子どもが今しか出来ない事を自由に子ども達主体で働きかけてくれる先生達と、自然豊かな環境は他には数少ない園ではないかと思う。
3 年間、子どもを本園に通わせることができ、保護者として本当に感謝している。これからも北竜台ふたば文化の益々の発展と、いつまでも変わらず子ども達の楽園でありつづけてほしいと思う。

以上の言葉を胸に、職員一同、より一層の努力を重ね、子ども達にとって、保護者にとって、地域の方にとって、みんなにとってより良い北竜台ふたば文化を作っていきます。